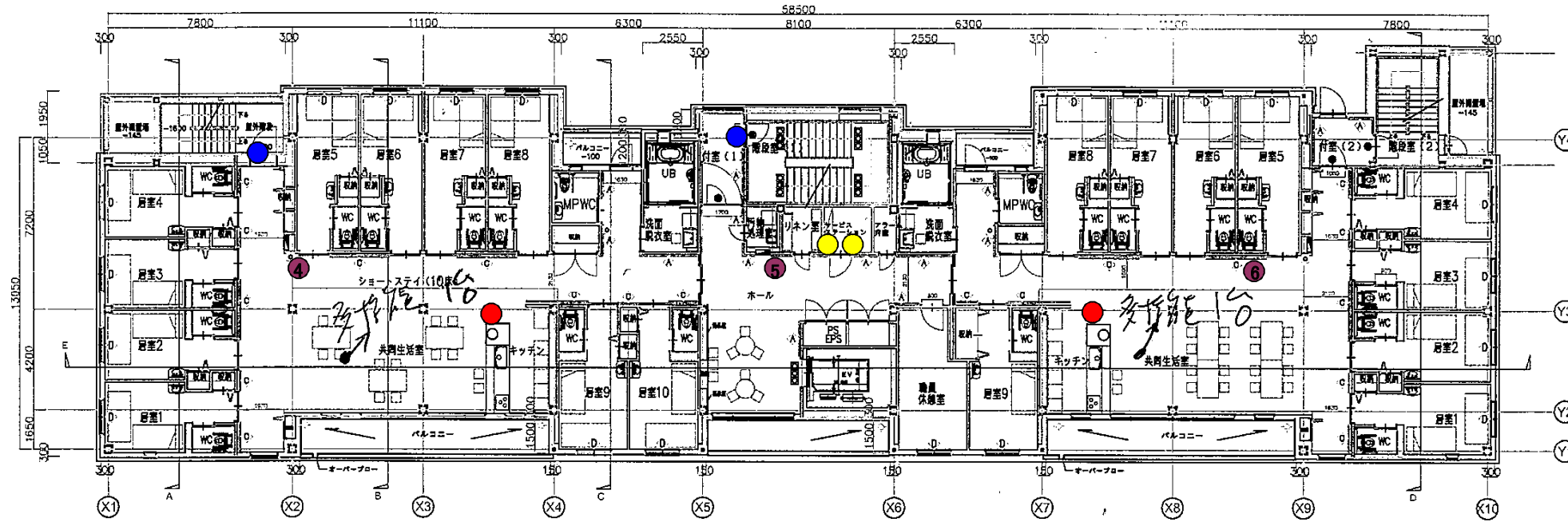


技術仕様書（電話設備）

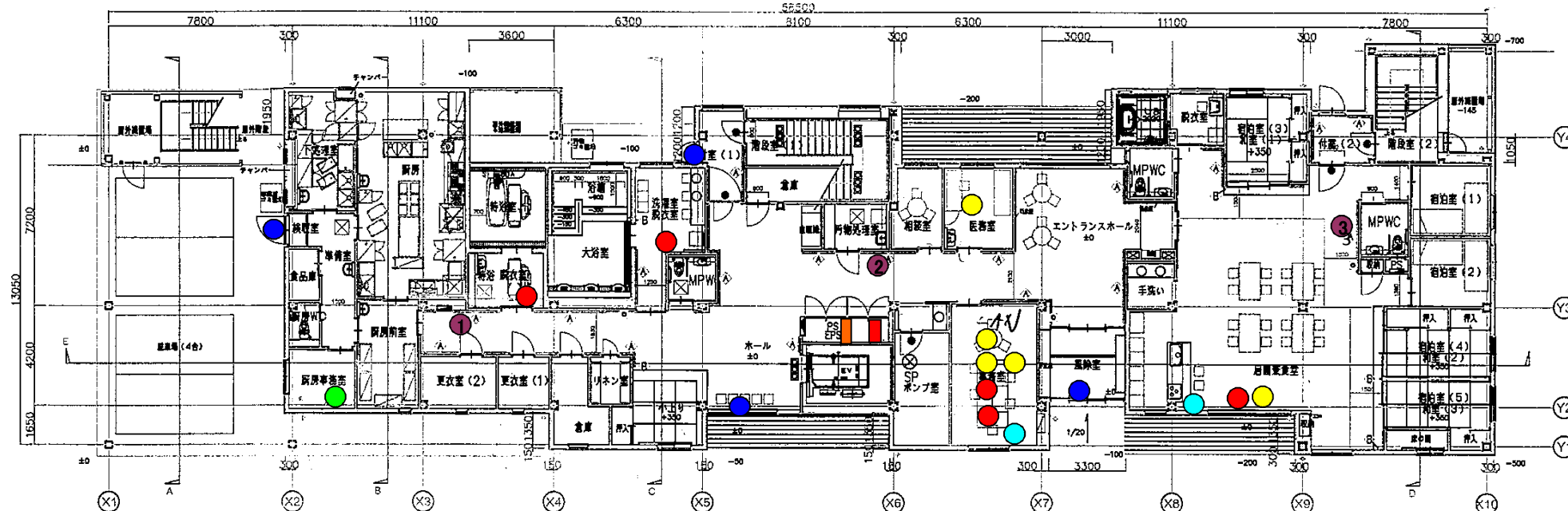
項番	項目	要求仕様
1	電話設備	
1-1	電話主装置本体（1式）	
1-1-1	通話路方式	PCM時分割一段スイッチ
1-1-2	制御方式	蓄積プログラム
1-1-3	プロセッサ	32ビットマイクロプロセッサ
1-1-4	収容回線	<局線実装> ひかり電話オフィスA：8ch（直収） <内線実装> デジタル内線：16回線、アナログ内線：4回線、CSアンテナ回路：10回路
1-1-5	番号計画	別途協議とする
1-1-6	電源	AC100V±10%
1-1-7	蓄電池	停電時補償：10分以上
1-1-8	環境条件	周囲温度：0℃～40℃、相対湿度：10%～90%（結露しないこと）
1-1-9	機能要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・NTT東日本ひかり電話オフィスAを直収できること。</li> <li>・夜間、休日などに指定された外線の着信を、ボイスメールの留守番電話で応対させることができること。</li> <li>・外部リレーからの入力によりシステムを動作させることができること。</li> <li>・アナログ内線ポートに、局線反転機能を有していること。</li> <li>・アナログ内線ポートに、PB信号機能を有していること。</li> </ul>
1-2	多機能電話機（9式）	
1-2-1	機能ボタン	24ボタン、保留、転送、フッキングの固定機能ボタン機能付き。
1-2-2	LCDディスプレイ	全角14文字×4行表示（バックライト付き）で可動式とする。
1-2-3	ケーブル	2芯モジュラーケーブル
1-2-4	機能要件	発着信履歴をそれぞれ発信50件、着信50件蓄積ができること。 また、内1台は防塵防水カバーを設置すること。
1-3	一般内線電話機（1式）	
1-3-1	機能ボタン	転送（フック）、再ダイヤル機能付き。
1-3-2	ケーブル	2芯モジュラーケーブル
1-3-3	機能要件	受話音量調整、呼出音量の調整ができること。
1-4	CSアンテナ（9式）	
1-4-1	通話チャンネル	3ch/台
1-4-2	ケーブル	2芯モジュラーケーブル
1-4-3	機能要件	システム給電
1-5	構内PHS電話機（9式）	
1-5-1	機能ボタン	マルチファンクションキー（8個）、電話帳キー、保留キー、転送キー、内線キー機能付き。
1-5-2	使用時間	連続通話6時間以上、待ち受け時間250時間以上
1-5-3	機能要件	高速ハンドオーバーが可能であること。
1-6	遠隔制御システム（1式）	
1-6-1	動作電源	AC100-200V 0.65A 50/60Hz
1-6-2	通信機能	アナログ/PHS（アナログ）/Ethernet（HUB、ルータ等）/FOMA（RS-232C） ※音声はアナログポートからのみ送可 ※アナログポートはモデム内蔵 ※PHS・FOMA機器は別途
1-6-3	通報方式	音声/メール/データ/DTMF
1-6-4	最大宛先数	音声/DTMF：16宛先 メール：32宛先
1-6-5	通報種別	デジタル入力通報（イベント・パルス積算・時間積算）/アナログ入力通報（閾値） /定時通報（指定時刻・指定間隔・日報・月報・年報帳票など）/停電通報 /モード切替通報/ローバッテリー通報 他
1-6-6	音声メッセージ	テキスト音声合成方式
1-6-7	記録データ保存	SDカード（1Slot、2GBメモリ初実装）
1-6-8	デジタル入力（DI）	12ch ※拡張IOボードを実装した場合は、最大20ch ・入力形式：無電圧接点入力 ・入力方式：イベント/パルス積算/時間積算 ・検出方式：イベント/パルス積算/時間積算 端子ごとに選択 ・最小検出時間：イベント：300ms パルス：10ms 運転：1s
1-6-9	アナログ入力（AI）	4ch（非絶縁） ※拡張IOボードを実装した場合は、最大12ch（非絶縁4ch、絶縁8ch） ※デバッグスイッチ設定により端子毎にデジタル入力へ変更可 ・入力形式：電圧/電流入力 端子ごとに選択 ・入力レベル：電圧：DC 0-5V/1-5V 電流：DC 0-20mA/4-20mA ・検出方式：閾値5値
1-6-10	蓄電池	停電時補償：10分以上
1-6-11	機能要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通報制御システムを電話主装置に接続し、センサーから異常信号があった場合に、構内PHS電話機へ音声通報ができること。</li> <li>・構内PHS電話機応答後に、音声メッセージを3回以上通報できること。</li> <li>また、メッセージ確認後、構内PHS電話機から信号送出により、メッセージが終了すること。</li> <li>・時間切替ができること（昼間は通報無・夜間のみ通報のこと）</li> </ul>

項番	項目	要求仕様
1-7	マグネットスイッチ センサー（8式）	
1-7-1	接点動作	マグネット離隔時／接点：閉、マグネット近接時／接点：開
1-7-2	接点定格	接点容量：AC/DC30V・0.1A（抵抗負荷）、接触抵抗：200mΩ以下
1-7-3	設置方法	露出設置
1-7-4	配線接続	リード線式
1-7-5	機能要件	遠隔制御システムのデジタル入力（DI）に接続し、運用できること。
1-8	モバイル内線機能（2式）	
1-8-1	機能要件	当社所有の携帯電話を電話主装置の設定にて内線番号で送受信できる機能であること。
1-9	設置要件	
1-9-1	設置箇所	各機器の設置箇所は別紙の「電話設備平面図」のとおりとする。 尚、電話主装置本体及び遠隔制御システムについては、1階EPS内に壁掛け設置とすること。
1-9-2	配線工事	電話配線は原則既設流用とする。ただし、遠隔制御システムとマグネットスイッチセンサー（8式）間の配線については新規敷設とする。
1-9-3	据付調整	各機器の据付調整を行うこと。また、サービスクラスや短縮ダイヤル等電話の運用については、担当職員と協議の上、設定すること。
1-9-4	既設機器撤去	別途協議とする
1-9-5	完成図書	<p>工事完了後、以下の完成図書をデータで提出すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・システム構成図</li> <li>・番号計画</li> <li>・多機能電話機キーレイアウト図</li> <li>・端末設定一覧</li> <li>・共通短縮リスト</li> <li>・電話主装置機器実装図</li> <li>・平面図（電話機等端末のプロット図）</li> </ul>

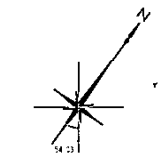
# A-11 1・2階平面図 A1:1/100 (A3:1/200)



2階平面図 S=1/100



1階平面図 S=1/100



- 多機能電話機
- 構内PHS電話機
- CSアンテナ
- FAX
- 一般内線電話機
- マグネットスイッチセンサー
- 電話主装置
- 遠隔制御システム

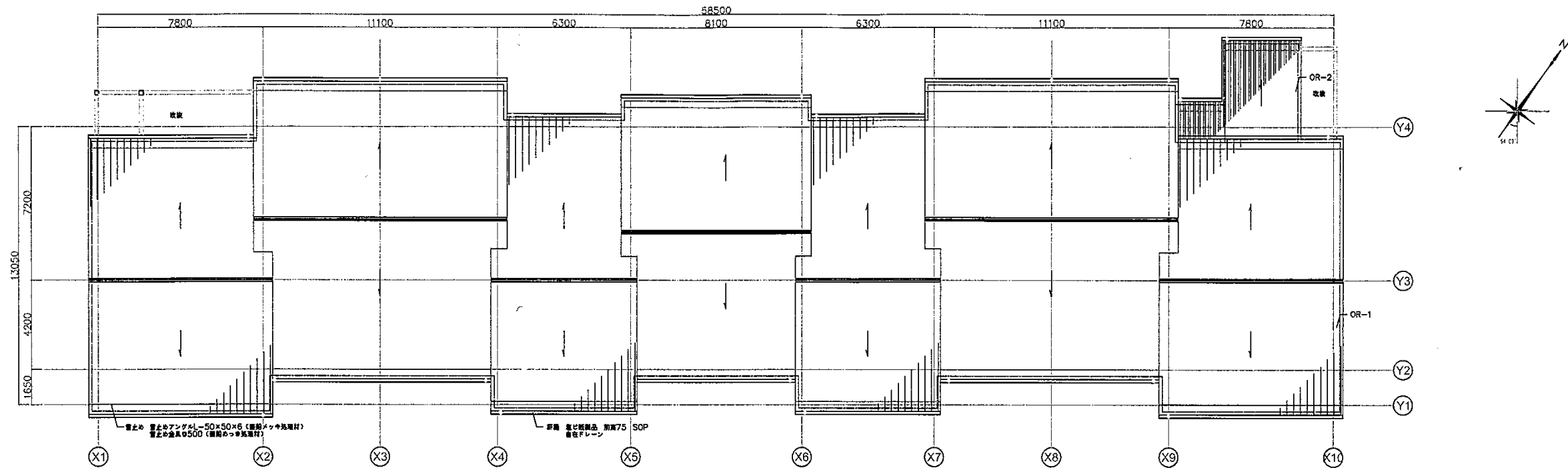
凡例

- 床下収納口 600x500 (仕上:床と同材料)  
(ビット内ステンレスタック#22 W=400 4重)  
床下ビット埋込、管径は仕様書による。
- △ 差付手摺
- ▽ タテ手摺
- 自立手摺
- ◇ 扉手摺
- 補助水栓 (機械設備)
- 消火器ボックス (壁掛け、扉付) 扉内は消火器自立型
- ルーフドレーン 80# タテ型
- タテ溝 縦溝幅60# SOP

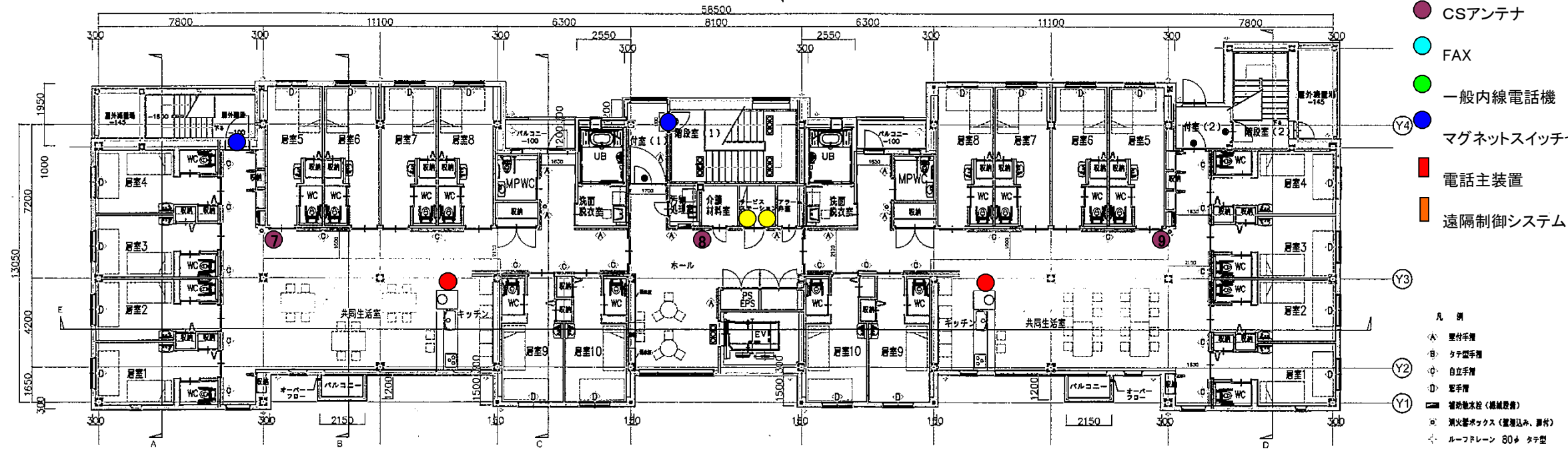
- ◇ 匿名札 (ビクトサイン 平面)
- ▽ 匿名札 (ビクトサイン 黄色)

No.											
Scale	A1:1/	A3:1/									
図名	電話設備平面図 2/2										
設計	関・空間設計	設計年月	H22.11	全案	00	工事名					
承認	関・空間設計	承認	関・空間設計	承認	関・空間設計	承認	関・空間設計	承認	関・空間設計	承認	関・空間設計

# A-12 3階平面図・屋根伏図 A1:1/100 (A3:1/200)



屋根伏図 S=1/100



3階平面図 S=1/100

- 多機能電話機
  - 構内PHS電話機
  - CSアンテナ
  - FAX
  - 一般内線電話機
  - マグネットスイッチセンサー
  - 電話主装置
  - 遠隔制御システム
- 凡例
- 壁付手摺
  - ⊕ タテ型手摺
  - ◇ 自立手摺
  - 壁手摺
  - 消防機水栓 (機械設備)
  - 消火器ボックス (置機込み、扉付)
  - ← ルーフドレーン 80φ タテ型
  - タテ管 破管径と管80φ SOP

備考	関・空間設計	〒051-8511 仙台市青葉区本町2-1-1 152538号	152538号	承認	調査	設計	設計年月	全頁	工事名	No
				渡邊	木田	佐藤(完)・菅根	H22.11	00		
									図面名称	Scale A1 1/100 A3 1/200